

南無ちゃんのブログ 2019年8月

目次

8月1日	九頭竜川遠征8日目.....	2
8月2日	久々の野良仕事.....	2
8月3日	モモの収穫・シャインの夏剪定.....	2
8月4日	草刈りと竹伐り.....	3
8月5日	防除⑩と竹の花筒作り.....	3
8月6日	チャージコントローラの交換.....	3
8月7日	第二次九頭竜川遠征初日.....	4
8月8日	第二次九頭竜川遠征2日目.....	4
8月9日	第二次九頭竜川遠征3日目.....	5
8月10日	吉野川遠征.....	5
8月11日	吉野川遠征2日目.....	5
8月12日	吉野川遠征3日目.....	6
8月13日	モモの収穫第二弾.....	7
8月14日	デラウェアの収穫.....	7
8月15日	台風10号通過.....	8
8月16日	台風10号被害.....	8
8月17日	ブドウ棚を再建.....	9
8月18日	副梢の摘心と防除⑪.....	10
8月19日	第3次九頭竜川遠征初日.....	10
8月20日	第3次九頭竜川遠征2日目.....	11
8月21日	第3次九頭竜川遠征3日目.....	11
8月22日	第3次九頭竜川遠征中断.....	12
8月23日	デラウェアを道の駅で販売.....	13
8月24日	リベンジのための仕掛けづくり.....	14
8月25日	イチジクの摘心.....	14
8月26日	ブドウ出荷講習会.....	15
8月27日	第4次九頭竜川遠征初日.....	16
8月28日	第4次九頭竜川遠征2日目.....	16
8月29日	第4次九頭竜川遠征3日目.....	16
8月30日	第4次九頭竜川遠征4日目.....	16
8月31日	第4次九頭竜川遠征5日目.....	17

8月1日 九頭竜川遠征8日目

天気快晴。平水で濁りなし。

9時頃まで仕掛けを作って、浄法寺橋上流左岸のトロ場に行きましたが、釣果ゼロ。

道〇さんが帰宅されるのを見送って、午後から佐〇さんと一緒に谷口の左岸側に入りました。灯籠流しの分流の下流端近くを渡って本川で指しました。ここでも大きな鮎が掛かるという話だったので、釣果は20cmよりも小さいのが1尾でした。

4時半頃飯島に帰って残業したところ、1尾だけ掛かりました。

なかなか九頭竜の鮎は手強いので、そろそろ引き上げることにしました。

夕方、もりいし釣具店に立ち寄って冷凍してもらっていた鮎を引きとって、永平寺温泉禅の里の湯に浸かって帰路に就きました。

8月2日 久々の野良仕事

今朝時頃に家に到着しました。旅の片付けをした後、ブドウ園に行ってみました。5日程前に妻から連絡があり、サル除け用の電柵が異常との事だったので、原因を調べたところ、チャージコントローラが壊れていました。早速、家に帰って代品をネットで注文しました。

次に気になっていたのは、桃の生育状況です。特に「白鳳」は完熟していました。明日には一斉に収穫しようと思います。

シャインマスカットの果粒を触ってみたところ、弾力性があり果粒軟化期に入ったようです。これで、安心して伸び過ぎた副梢をバチバチ切ることができるというものです。

川に浸かって鮎釣りをしていたので、暑さはそれほど気になりませんが、日中は暑くて野良仕事なんてやってられません。早くも九頭竜川が恋しくなりました。

8月3日 モモの収穫・シャインの夏剪定

朝一番にモモを収穫しました。白鳳という品種です。白桃なので白いモモなのですが、袋を掛け忘れたモモは赤くなっていました。そうか！袋で白くしているんだ！

朝8時からお宮の掃除に行きました。この行事をこなすことも九頭竜から帰った理由の一つです。

今日も30°Cを越す暑い日だったのですが、頑張ってシャインマスカットの夏剪定をしました。本来的には、ここまで枝が伸びないことが理想なのですが、肥が効きすぎているようです。今年の秋の肥は控えめにしなければなりません。

2時頃まで休憩して、モモの袋を外して選果をしました。夕方には近所周りにおすそ分けしました。

明日、草刈りができるように4時頃から剪定した枝を片付けました。その後、スピードスプレーヤーのVベルトを交換しました。実は、Vベルトを交換するのは、これが初めてです。2本もあるので、最初に奥の溝からVベルトを掛けなければならないのですが、なかなかうまくいかず四苦八苦しました。プーリーを外そうかと思ったりもしましたが、悪戦苦闘の末になんとか2本共掛かりました。やはり、プーリーを外さなくても掛けられるように設計されているようです。設計する側になってみれば当然のことですよね。Vベルト掛けの技術が未熟なだけでした。

8月4日 草刈りと竹伐り

朝6時過ぎからFIMASAOで、ブドウ園とブドウ園隣地の草刈りをしました。刈り残しを刈り払い機で1時間程草刈したら11時になったので、猛烈な陽射しの下での作業は終了しました。

猛暑の下、午後2時頃からF1 MASAOを洗車すると、もうそれだけで汗びっしょりでした。一休みした後、裏の竹藪に入って竹を5本切り出しました。明日は、防除作業の後で、お盆を迎えるにあたりお墓の花筒を新しい竹で作るためです。



8月5日 防除⑩と竹の花筒作り

朝5時に起きて6時頃からブドウ園に行って、防除をしました。今回は、スピードスプレーヤーのVベルトを交換したので、安心して作業できました。

ムッシュボルドー DF x 500 倍、コロマイト x 2000 倍、アビオン E x 1000 倍の薬液をまず 400 リットル調整して、ギヤポジション1(最遅)で散布しました。半分程散布したところで、300 リットル追加で調整したところ、丁度位の量でした。

防除作業の後で、昨日伐った竹(5本)を花筒のサイズに鋸で引きました。午後3時頃から、鉋で斜めに切って約90本の花筒を完成させました。

午後5時頃からブドウ園に行って、遅伸びするピオーネの棚(坂下棚)の副梢を欠き取りました。2週間程前に撒いた消石灰が効いて遅伸びが止まっているかどうかは未だ不明です。

8月6日 チャージコントローラの交換

金曜日に Amazon に注文していたチャージコントローラが来るのを待っていたところ、午後4時頃にやっと配達されました。今夜から九頭竜に行きたいと思っていたので、なんとか間にあいました。

ところが、今日は午前中の早い時間は曇りだったのですが、台風の影響なのか雨が降ったり止んだりの天気です。夕方5時頃は強く降っていたので、暫く待つことにしました。

小降りになったところで、チャージコントローラを交換しました。電子部品で構成されているため、湿気を嫌うので、タッパーの中に入れて多少なりとも、水の影響を排除する努力をしました。チャージコントローラは、ソーラーパネルの裏面にコンパネを渡して、コンパネにネジ止めしています。

今回購入したチャージコントローラは、約1000円という安さなので、壊れても惜しくない値段ですが、注文したり、取り換えたりする手間が面倒なので、少しでも長持ちしてくれるとありがたいの

です。

このチャージコントローラは、サルからブドウを守るための電柵の電源として、ソーラーパネルからバッテリーに充電するために使用しています。

金曜日の朝帰宅して、やるべき用事はすべて済ませたので、安心して鮎釣りに出かけることができます。



8月7日 第二次九頭竜川遠征初日

昨夕7時過ぎに家を出て、今朝7時過ぎに九頭竜川に到着しました。

お土産に持ってきたモモを二人ほどに配ってから、谷口頭首工下右岸に入りました。間〇さんにポイントをアドバイスしてもらったのですが、結局午前中の釣果はゼロ。昼飯時に飯島に行って、3人程いお土産を手渡しして、昼飯にしましあ。

午後からは、飯島の白泡に入りました。間〇さんにもらった仕掛けと掛けバリとオトリのお蔭で立て続けに3尾程釣れました。今日は永平寺町も猛暑でしたので、白泡の傍で首まで浸かっているとひんやりとしていい気持でした。

夕方は、間〇さんと示し合わせて、飯島で炭火ステーキあんど宴会。9時頃にはバタンキューでした。

釣れても釣れなくても、九頭竜川遠征は楽しいのだ！

8月8日 第二次九頭竜川遠征2日目

飯島で朝飯を食べてから、吉波に向かいました。午前中は風が弱かったので、11mの竿を出して精一杯ウェーディングしました。何とか3尾、それも同じポイントで掛かっただけで、それ以外は反応すらありませんでした。

それでも、午後になれば釣れるという噂を耳にしたので、そのまま3時頃までやりましたが、1尾も追加することなく、3時には川から上がりました。

川から上がって、鮎を全部絞めてもりいし釣り具の冷凍庫に入れました。鮎釣りの仕掛けをつくるための部品とか小道具を買いに、福井市内の釣り具屋「ふなや」に行きました。帰り道に、スーパーで食糧品などを仕入れてから、マルツに立ち寄りました。いつもネット販売でお世話になっている店の一つです。

永平寺温泉「禅の里」でひとつぷろ浴びた後に、中島公園に行きました。

中島公園に止まっている車の数は片手程でした。もっと賑わっているかと思いきや反対でした。

今夜は一人寂しくハイボールを作って飲んでいます。前回の遠征で一人になることはなく、第二次遠征の今日が初日です。一人っていうのもなかなか良いもんです。

8月9日 第二次九頭竜川遠征3日目

昨日、鮎を全部絞めたので、今朝はオトリを仕入れてから始まりです。谷口のオトリ屋さんの前あたりから釣り下って行きましたが、一向にあたりがありません。2時間位かけて、300m位下ったところでやっと1尾目ゲットでした。午前中はそれでお仕舞。

昼休み中に、奈良の道〇さんから電話があり、吉野川は釣れているという話を聞いて、第二次九頭竜川遠征を中止し、吉野川に遠征することに決定しました。吉野川に行くのは初めてなので、道順を調べたりして、2時過ぎに場所を飯島の右岸に変えて、再び川に入りました。5時まで釣って2尾の釣果でした。

九頭竜川の水は冷たくて、酷暑日でも快適に過ごせるのですが、連日オトリ取りさえできないのには閉口です。

永平寺温泉で心の疲れを癒して、午後7時頃に吉野に向けて出発しました。

8月10日 吉野川遠征

あまりにも九頭竜川の釣果が芳しくないので、奈良県の吉野川にワープしてきました。今日から週末・祝日で3連休ということもあり、道〇さん、森〇さん、島〇さんと合流して上市水泳場あたりで鮎釣りをしました

彼らのホームグラウンドということなので、良いポイントで釣らせてもらったので、いきなり6連発の入れ掛かりでした。1時間程で九頭竜川での2日間分の釣果でした。やっぱり鮎釣りは、ある程度釣れないと楽しくないわねえ～！

ここ上市水泳場は、奈良のワイキキビーチのようです。家族連れやカップルが水遊びに訪れる場所なのです。

少し水温は高めですが、楽しく水遊びできました。

8月11日 吉野川遠征2日目

今日は3連休中日の日曜日ということもあってか、昼間は昨日以上の人出です。・・・それは釣り人の数ではなくて、水泳場に水遊びに来ている人の数です。駐車場は一杯、河原はテントだらけです。阿鼻叫喚やBBQの匂いが充満しています。そんな中で鮎釣りをするのも難儀なものです。

昨日はBBQや水遊びをしているエリアで竿を出しましたが、今日は諦めて下流のBBQ禁止エリアで竿を出しました。川底は比較的小さな玉砂利で、波立ちもなく、何処に鮎がいるのか見当が付きませんでした。森〇さんのアドバイスにより、左岸側のへちが狙い目とのことだったので、暫くして当たりがありましたが、バラシ。二度目のあたりでようやくゲット。その次もバラシ。根掛かり・・・と悪い雰囲気。ここでの根掛かりは、ハリが石に刺さるというケースが3回もありちょっとびっくりです。結局午前中は5尾の釣果でした。

森〇さんと島〇さんは午前中で釣りを止めて帰宅されたので、午後からは道〇さんと二人になりました。午後2時頃から、午前中と同じコースを辿りましたので、釣果は上がりません。他、ナマズが1尾かかりました。

夕方、温泉に行って帰りに食堂(レストラン)で食事をした後、上市水泳場の駐車場まで戻って、

車を止めていた場所にたどり着くまでに、車がスタックしてしまいました。駐車場とは名ばかりで、玉石をユンボで均して踏み固めただけなので、徐々に地盤が緩んでいたようです。昼間、他の車がスタックするのを見ていたのですが、やっちまいりました。現在 JAF のロードサービスを待っています。こういうこともあるかと、ハイエースを買ったときから JAF に入会しているのですが、過去に1度だけ鍵の閉じ込めて呼んだことがあるだけなので、今回は折角のチャンスなので利用させて頂きました。

8月12日 吉野川遠征3日目

今朝までベースキャンプにしていた上市水泳場駐車場を後にして、吉野大橋の下に移動しました。

橋から100m程上流の瀬尻からスタートしました。オトリを入れて5分もしないうちに1尾目をゲット！これは幸先が良いと思っていたところ、10分程後に当たりがありました。ライン石に擦れたのかプツンして親子どんぶり。やっぱり「ラインは切れるまで使う派」ではダメみたいです。易いPE(アーマード)なんだから、「ラインを切れないうちに交換する派」にならないと・・・！

その後1時間程かけてオトリ2尾をダメにした後、オトリ缶のところに帰って、瀬尻のやや下流の深いところを錘を付けて引いていたところ鈍い当たりがありました。上げようとして引いてもあまり反応がありません。もしかしたら根掛かりかと思いましたが、ゆっくりと上がってきました。良く見るとカメ(すっぽん)のようです。なんとか取り込もうとゆっくり手元に寄せてつまみ糸をもった瞬間にプツン！カメは逃げてしまいました。後に残されたオトリをよく見ると、下半身がありません。どうやらスッポンに喰いちぎられたようです。仕掛けに目を転じるとハリス切れはなく、掛けバリも全部残っていました。ということは、ハリはスッポンには掛かっておらず、スッポンがオトリを啜っていたので寄ってきたということのようです。昔から、スッポンは雷が鳴っても啜えたものを離さないって言いますが、どうやら本当のようです。

昼前から突風が吹き始めて、竿を持っているのが辛くなったので、川から上がりました。どうやら、この風は台風の影響のようなので、弱まる見込みは無しと判断して、帰路に就きました。吉野を13時頃出発して、6時前には家に到着しました。



8月13日 モモの収穫第二弾

昨日帰宅したのは、お盆というのがありますが、モモがそろそろ熟しているのではないかと気になっていたからです。

収穫は朝の涼しい時にするのがベストなので、朝一番にコンテナを軽トラに積んでブドウ園にいきました。今日収穫するモモは「おかやま夢白桃」という品種です。袋掛けした数は200弱でしたが、袋の中で落下したものや袋ごと落下したものもあり、収穫したのは約150個です。更に、傷の酷いものを除くと100個足らずの綺麗で美味しそうなモモが残りました。

早速箱詰めして、親戚や知人に発送しました。

糖度を測ったところ、12度ありました。モモとしては最高に甘い部類です。



8月14日 デラウェアの収穫

昨年、デラウェアの無核化(種なし処理)には失敗した上、摘粒も全くしなかったために、食用にはなりませんでした。お陰でジュースにして発酵させて美味しくいただくことができましたが、本来は食用にしたかったのです。

今年は、ジベ処理の前にマイシン処理をして、蔓の成長度合いを注意深く観察してジベ処理の日を選んだので、ちゃんと無核化できました。ピオーネやシャインマスカットの摘粒作業と重なって忙しい時期でしたが、妻がちゃんと摘粒作業をしてくれたので、スーパーマーケットに売っているのと同程度の粒揃いになりました。

果粒軟化を確認したのが、7月16日頃だったので、お盆頃には収穫できると予想していました。モモと違ってブドウは必要なだけ収穫すればよいので、消費する分だけ収穫しています。今日も7房程収穫してきました。

糖度は18度あり、適度に甘くて美味しく仕上がっています。ピオーネやシャインマスカットよりも早い時期に収穫できるのは嬉しいことです。

私が20代の頃には、消費者としてデラウェアを好んで食べていたので懐かしの味です。



8月15日 台風10号通過

今日は台風10号が午後3時頃、広島県呉市付近に再上陸し北上しました。朝から雨風共に強く、外には出る気もないので、一日中家の中で過ごしました。

主に、パソコンでwebニュースを見たり、鮎釣りの仕掛けを作ったり、昼寝をしました。昼寝をするのは久しぶりです。アメダスによると、降り始めからの累積雨量は約50mmです。このアメダスでは、風速は観測されていないのですが、多分最大風速は20m/s位だったように思います。

夕方には風雨が弱まったので、家の周りを見渡すと、イチジクの樹の枝が倒れていました。明日朝には、ブドウ園やアンテナを見回りして被害状況を確認したいと思います。



8月16日 台風10号被害

今朝は台風10号の風も雨も収まっていたので、被害状況を確認しに見回りに行きました。アンテナは、フォースクエアアンテナの1つのエレメントが曲がっている程度で、それ程の被害はありませんでした。ブドウ園に行くと、プロに建ててもらった棚は問題なかったのですが、自分で建てた棚はベチャッと倒壊していました。安芸クイーン2本の棚です。あと1ヶ月程で収穫できるという時期なのに残念です。レスキューできるかどうか微妙ですが、できるだけの手を尽くしたいと思って、

悪あがきかもしれませんが、即時に棚の復旧作業を開始しました。幸か不幸か、飛行機の欠航で北海道のロックライブに行けなくなった娘たち(2人)に手伝ってもらうことができたので、妻も合わせて4人態勢で、ブドウ棚の復旧作業をしました。今日の処は、単管パイプ製のブドウ棚のフレームだけは復旧できました。明日は、ブドウの樹を引き上げる作業をする予定です。



8月17日 ブドウ棚を再建

台風10号の東風で倒壊した安芸クイーン2本のブドウ棚を、何とか応急処置的ではありますが再建することができました。収穫開始まであと20日程なので、雨除けのビニールは付けていません。そもそも、ブドウの樹が生きているのか枯れてしまうのかさえ現時点では不明です。相当なダメージがあったと思われるので、何とか生きていて欲しいと祈るばかりです。

倒壊した衝撃で、潰れたり損傷を受けた房は10以上ありました。まだ着色は不十分で、糖度は14度程でした。玉太りは良好で、大きなものはピンポン玉程の大きさになっていました。

近所のビニールハウスなどの被害は殆ど無かったのに、私の自作したぶどう棚だけが倒壊したのはショックです。このままでは、仮にブドウの樹が生きていても近い将来、同じような被害に遭うことは必定です。構造的な欠陥を洗い出して対策を講じる必要があります。考えられる構造的な欠陥をリストアップしてみます。

1) 筋交いが無い

2) アンカーが無い(地中に置いた石に単管パイプを載せただけの構造)

倒壊当時の様子を観察していた訳ではありませんので、想像に過ぎませんが、強風で吹き上げられて棚全体が上下に振動して、その挙句に倒壊したのかもしれません。

一応、棚は再建できたので、1週間程様子を見ることにします。収穫できるのかできないのかを見極めた上で、対応を検討することにします。



8月18日 副梢の摘心と防除⑩

朝は、遅伸びしているピオーネとシャインマスカットの副梢を摘心しました。今日も暑い日だったので、早めに終わらせたかったのですが、終わったのは午後1時を回っていました。

遅めの昼食と長めの昼休みの後、午後5時前から防除⑩を始めました。夕方に防除作業をするのは今回が初めてです。スピードスプレーヤーでサクサクとやれば1時間程で終わると思いましたが、掃除まで含めると1時間半はかかりました。ムッシュボルドー DF x 500倍とアビオン E x 1000倍の薬液を1回目に400リットル調整して散布し、追加で250リットル調整して散布しました。薬液は、10リットル位残っただけでした。



8月19日 第3次九頭竜川遠征初日

台風10号が悪戯をしてくれたおかげで2日程余計な日を過ごしてしまいましたが、九頭竜川の水がそろそろ引いているだろうと思い、昨夜9時頃家を出発して、今朝7時頃に九頭竜川・飯島に到着しました。飯島には、美〇さん、辻〇さん、間〇さんがいらっしゃいました。

水は平水より少し高めでしたが、やや強い笹濁りがありました。昨日はよく釣れたそうです。早速8時過ぎには川(飯島3番瀬)に入りましたが、ポイント選定を誤ったのかちっとも釣れませんでした。頭首工下の弱い流れを泳がせていたところ、やっと1尾目がかかりました。続けて5尾程掛けて、1番瀬を下りましたが、こちらでは全然でした。

午後、頭首工上の絞り込みのあたりで竿をだしていると、25cmクラスの鮎が掛かりました。それをオトリにして引いていると、岸で上〇さんが手を振っていらっしゃったので、川から上がり暫く会話しました。上〇さんとは前回もすれ違いでしたので、近況などを聞かせていただきました。

3時前から、5時まで右岸側頭首工上の絞り込みで竿を出しました。25cmクラスのばかり3尾程釣れた後、オトリサイズの鮎が1尾掛かったのでクローズしました。

夕方から雨が降り始めましたが、キャンピングカーのオーニングを出して、間〇さんと宴会しました。ディナーは間〇さん作の牛肉ステーキを鮎の串焼きでした。美味しかったです。ごちそうさまでした。

8月20日 第3次九頭竜川遠征2日目

朝から小雨が降ったり止んだり。水位は平水より5cm位高め。9時過ぎから遅めにスタート。やっと2尾目を釣ったところで、暗雲が立ち込め、激しい雨が降り始めました。この雨は通り雨で、30分程で上がって、青空が広がりましたが、段々と濁りが激しくなり、ゴミが流れてきたり増水してきたので、釣りは中止。

昼寝した後、コメリに買い物に行って、禅の里永平寺温泉でゆっくり湯に浸かりました。午後6時から、上〇さんと「かじ惣」のホルモンを焼いて食べました。美味かったあ！

8月21日 第3次九頭竜川遠征3日目

今日は上〇さんと一緒に中島に行きました。今年初めてのの中島です。1日中曇りでした。遠くの坂東島側(右岸側分流の右岸)に大〇さんが一人で頑張っているのが見えました。中島の釣り人は我々を含めて3人だけです。上〇さんは昨日も此処で釣っていたというだけあって、ポツポツと掛けていますが、私は放水口近くで1尾掛けた後、放水路下流の分流対岸に渡って1尾掛けただけでお昼になってしまいました。

昼飯後に、大トロの絞り込みあたりで竿をだすと、入れ掛かり6連発でした。ちょっと幸せな気分。その後、大〇さんの対面側を釣り下って行くと、瀬がきつくなるところで当たりがあり、引き抜いてタモに入れようと錘をつかもうとしたときにプツン・・・親子どんぶりです。

入れ掛かりした絞り込みポイントに戻って竿を出しましたが、アタリはありませんでした。そのうちに暗雲が立ち込めて来たので車に戻った頃に大粒の雨が降り出しました。雨は暫くして上がりましたが、時は既に4時でした。もう少し釣るべしと、放水路下流の分流で竿を出しました。1尾掛けて、2尾目が掛かった時、寄せている時に、またまたプツンして親子どんぶりしました。オトリが25cmクラスで、掛かり鮎も25cmクラスなので、仕掛けの強度不足が原因なのでしょう。仕掛けは、アーマード0.1号を1.5号のつまみ糸兼中ハリスに外掛け結び(7回)で結んでいます。今日切れた2本はどちらもアーマードと中ハリスの結び目で切れているのです。やっぱり編み込みかなあ～？

8月22日 第3次九頭竜川遠征中断

今朝未明に激しい雨が車の屋根を叩く音で目が覚めました。5時頃起床した時には、雨は上がっていましたが、川は50cm位増水して濁流になっていました。6時頃には、遠くのスピーカーから、大雨警報が出たことを放送していました。ワンセグTVでニュースや天気予報を見ていると、今日も明日も雨という予報だったので、釣りを止めて帰宅することを決定しました。帰るとなったら、朝飯も食べずに、川に浸けていたオトリを回収して、氷で絞めました。もりいし釣具に寄って冷凍庫に預けていた鮎を引き取って、7時には帰路に就きました。



山陽ICで降りて、知り合いの○田さんの家に立ち寄り、今朝絞めた鮎をお土産としてお届けしたところ、新品種のももである「白皇」と新品種のブドウ「ジパング」を頂きました。これは予想外でしたが、どちらも一度食してみたかったので、有難く頂戴しました。





8月23日 デラウェアを道の駅で販売

販売用としてではなく、趣味的に、自分が好きだからという理由で作っているデラウェアですが、お盆前頃に熟して、自分で食べたり近所に配ったりしていましたが、第3次九頭竜川遠征から帰った昨日時点で未だ半分程も残っていました。

果汁を絞って非合法的なワインを作るという手もありますが、手間が掛かるので、サクッと処分したので、パックに詰めて道の駅に持って行きました。

お盆頃に、スーパーマーケットのチラシでデラウェア1パック358円！というのを見たことがあるので、道の駅では298円という値段で販売することにしました。幸い、明日から週末なので買ってくれる人もいだろうと思って20パック(40房)を9時過ぎに持って行きました。

すると・・・1時頃に携帯電話にメールで17パック売れたと連絡がありました。アレマ！予想以上に早く売れました。夕方には、20パック売れたという連絡があり、今日中に完売してしまいました。でも残念ながら、もう売る商品はありません。



8月24日 リベンジのための仕掛けづくり

午前中は晴れていたのですが、太陽光発電所の周辺の草刈りをしました。昼からは暑くなりそうだったので、仕掛け作りをしました。天気は午後になり、曇ってきて、夕方にはパラパラと雨が降りだしましたが直ぐに止みました。

先日九頭竜川で、1日に2回も親子どんぶりしたのは痛恨だったので、なんとか対策を講じてリベンジを果たしたいのです。8月26日にブドウの出荷説明会があるので、それが終わったら今シーズン最後の九頭竜川遠征に出かけたいと思っています。

手元に0.1号のダイワのヘビーコンボがあったので、0.1号のアーマードより少しは強いかなと思って2本仕掛けを作りました。先日切れたアーマードの残骸に編み込みをして修復しました。(こんなことをしているから親子どんぶりになるんだろうかと思いつつ・・・)

大鮎対策としては、アーマードの0.4号くらいに張り替えてしまいたいところですが、近所の釣具屋さんに行ってもアーマードが置いてあるか怪しいので、次回、福井に行ったときに購入しようと思います。

その他、鼻環まわりの仕掛けを4本作りました。

天気予報では、8月28日頃から全国的にぐずついた天気になるようなので、ちょっと心配です。この間のように、ゲリラ雨で赤濁りの大増水にならないことを願っています。

8月25日 イチジクの摘心

朝8時からクリーン作戦と称する道端の清掃活動に参加しました。その後、9時から町内会の草刈りです。草刈りの後で、お盆のご巡祭の時のビールが残り、朝っぱらから喉を湿らせて、解散したのはお昼前でした。

今日は晴天で暑かったので、昼休みを兼ねて、釣り道具箱の整理をしました。掛けバリや鼻環まわりの仕掛けが今シーズン分としては有り余るほど出てきました。

午後3時過ぎから、イチジクの摘心をしました。いままでイチジクを摘心したことはありません。台風10号でイチジクの枝が折れたり捩じれたりしたので、背丈が短ければ被害を小さくできるだろうと思い、ネットで調べたところ、イチジクを栽培している農家ではブドウと同じように摘心していることを知りました。

時期的には少し遅いようですが、何もせずに放置しておくよりはマシだと思ったので、テキトーに摘心しちゃいました。切断面から白い樹液がポタポタ落ちて、血か涙のように見えて少し可哀そうでした。

これで、台風対策になり、かつ、美味しいイチジクができれば万々歳です。



8月26日 ブドウ出荷講習会

本当は天気の良い内に鮎釣りに行きたいのですが、今日のブドウ出荷講習会があるので仕方なく家にいるのです。講習会に出席するために9時半頃家を出て、12時過ぎには帰宅しました。

講習会の前に、6時過ぎにブドウ園に行き、ピオーネを収穫してみました。今夕から九頭竜に行くので、お土産にするつもりで1ダース程収穫しました。色づきは十分です。糖度を測ってみると18度ありましたので、甘さも十分乗っています。食べてみると、酸味が残っていて少し酸っぱい感じです。収穫予定日より10日程も早いので仕方ありません。収穫する頃には酸味が抜けて美味しくなっていることでしょう。



午後からは、第4次九頭竜川遠征の準備をしました。今日は、早めに家を出ようと思います。福井北ICを通過する時刻が午前0時を回っていれば深夜割引が適用されるので、何処かのPAやSAに停まって車の中で寝るなりして時間を費やせば良いのです。

8月27日 第4次九頭竜川遠征初日

またまたやってきました九頭竜川へ～！

朝7時の水温は18.4℃でした。こんな日は焦って朝早くから川に入ってもなかなか釣れないようです。ボツボツ用意して、9時前に吉波左岸に入りました。やはり、1時間程は掛かりませんでした。やっと10時頃から掛かり始めました。

午前中は6尾の釣果でした。

お昼は道〇さんと一緒させていただいて、午後からは飯島の右岸に入りました。昼からは天気が崩れて、夕方には雨になりました。なので、ゴールデンタイムらしきものはなくて、4尾の釣果でした。今時掛かる鮎は最低でも22cm、25cmから27cmの鮎が掛かるのです。

今時、九頭竜川に鮎釣りに来る理由は、もはや避暑ではなくて、大鮎釣りになりつつあります。なので、大きな鮎が釣れると嬉しさひと際です。

8月28日 第4次九頭竜川遠征2日目

昨日(8月27日)のYouTube「釣師チャンネル」に私が釣っているシーンが紹介されていました。動画を投稿されている間〇さんは、こよなく九頭竜川の鮎釣りを愛している方の一人です。

未明に雨が降ったものの、早朝の天気は曇りでした。朝飯を食べていると、村〇さんが声をかけてくれました。3～4年ぶりの再会です。9時半頃まで、道の駅で釣り師の先輩方をだべっていました。こちらの天気予報では今日も明日も雨の天気予報なので、道〇さんと能登方面の旅にでかけることにしました。

道〇さんの車で久しぶりの珍道中です。途中、羽咋の千里浜海岸の砂浜を走行して、道に上がりかけたところで車がスタックしてJAFに救援してもらいました。今月2度目のスタックです。私の車ではありませんでしたが、私の会員証を提示して追加料金はゼロでした。

輪島のホテルに泊まりました。夕食は近くの居酒屋に行きました。ニュージーランドから来たという3人組のオヤジ組や20代の合コン組(4名)と談笑して、ホテルに帰ったの00時を回っていました。

8月29日 第4次九頭竜川遠征3日目

朝は輪島の朝市を見て回りました。この時には未だ雨は降っておらず、ぎりぎりセーフでした。輪島を後にして、能登半島の海岸沿いの道を時計回りにたどることにしましたが、ずっと雨がふっていたので、海の碧さなどを楽しむことはできず残念でした。

午後7時を回った頃には、永平寺町に到着しました。道の駅には間〇さんが待っていてくれて、道〇さんと3人で即、宴会を開始しました。雨が上がっていたので幸いでした。

間〇さんの話によると、今日の九頭竜川は釣りにはならなかったようです。能登の旅は正解でした。

8月30日 第4次九頭竜川遠征4日目

天気予報によれば、一日中雨だったので、午前中は買い物に出かけました。まず、福井市内の釣具店に行って、アーマードF+の0.4号と0.6号の糸を仕入れてきました。次に、勝山市内の

スーパーに行って、ホルモンうどんの食材を仕入れてきました。

天気予報通り、雨が降ったり止んだりしましたが、川の濁りは取れていたもので、午後から川に入りました。場所は飯島の一番瀬の瀬尻左岸側です。水が高いこともあって、釣り人の数は極少でした。バンバン釣れることを期待していましたが、掛けバラシが多く、5尾の釣果でした。仕掛けは、天井糸なし、水中糸はアーマードF+0.4号9mの通しで、目印もなしでやってみました。錘をつけてべた竿にして引く分には全く問題ありません。どんぶりなどのトラブルはありませんでしたが、錘なしで泳がせる時には目印が欲しいと感じました。

午後7時頃からホルモンうどんをつまみにして、道〇さん、間〇さん、辻〇さんと私の4人で宴会しました。午後から殆ど雨が降らなかったのは幸いです。

8月31日 第4次九頭竜川遠征5日目

今日は土曜日なので朝早くから大勢の釣り客がやってきました。天気は晴れ、風もなく絶好の釣り日和です。濁りはないものの、まだ20cm位は水が高い状態です。ダムが放水しているためか、朝6時の水温は15℃台と極めて低く、10時頃になるまでかかりそうもありません。浜松のグループは朝から宴会をしていました。

9時頃から飯島の頭首工の上流左岸に入りました。釣れなくても仕方ないと思って鮎を送り出すと、すぐに1尾目が掛かりました。それを見ていたのか浜松のグループが一斉に川に入ってきて、バンバンかけ始めました。私はというと、午前中3尾の釣果でした。

午後は、服部おとりの約300m下流左岸側に入りましたが、釣り切られた後だったのかベリともしませんでした。その少し下流で3尾ほど掛けて、大岩の所で2尾をプラスして終わりにしました。大岩から歩いて帰るとヘトヘトでした。

夕食は永平寺町東古市の中華料理店に4人で行きました。基地に帰ると、間〇さんが29cmの鮎を生き作りにして待っていてくれました。こりこりした触感で美味でした。